*2024年06月　第3版
2015年12月　第2版（新記載要領に基づく改訂）

認証番号：220AABZX00097000

歯科材料　０１　歯科用金属
管理医療機器　歯科鋳造用銀合金第２種（70778000）

ジーシー　ミロブライト

【禁忌・禁止】
本合金、類似成分の合金又は配合成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
形状 ： 粒状　100ｇ（ミロフラックス付き）／函
成分 ： 銀 72%、亜鉛 13%、錫 ９%、インジウム ６%

原理
歯科用の銀合金であり、加熱溶融して鋳造することにより、支台築造、インレー、クラウン等の補綴物を製作する。

特性

		参考値
液相点	(℃)	660
ビッカース硬さ	(HV)	145
引張強さ	(MPa)	356
伸び	(%)	6

【使用目的又は効果】
本品は、歯科鋳造用の銀合金であり、支台築造、インレー、クラウン、ワンピースキャストブリッジに使用する。

【使用方法等】
１）スプルー線
鋳造体の大きさに応じて、φ1.5～2.5mm の太さのものを用います。
２）埋没
クリストバライト系埋没材、又は石英埋没材を使用します。
３）ワックスの焼却とリング温度
使用する埋没材の添付文書に従い、ワックス焼却を行います。リング温度は700℃付近とし、30分間程度の係留を行います。ワックスを完全に焼却した後、炉内で400℃まで冷却するか、あるいは炉外に取り出して室温で３分間放冷してから鋳造します。
４）フラックス
ジーシー　ミロフラックスを使用します。
５）溶融と鋳造
溶融にはやや太い火炎を用い、合金が溶け始めたらミロフラックスを少量加え、全体が鏡面状に回転し始めたら、すぐに鋳造します。
６）鋳造体の取り出し
リングを室温近くまで放冷してから、鋳造体を取り出してください。
７）清掃と研磨
鋳造体は酸化による変色はしませんので、薬液清掃の必要はありません。そのまま通法に従って研磨を行います。
８）ろう着
ろう着にはジーシー　ミロソルダーを使用します。

［使用方法に関連する使用上の注意］
１）鋳造残部等を再溶融する場合には、サンドブラスターなどで埋没材を完全に取り除き、新しい合金を等量加えて溶融すること。
２）溶融時にはオーバーヒートに注意すること。
３）鋳造後、すぐに水中で急冷することは合金を脆くするため、リングは必ず室温近くまで放冷すること。

【使用上の注意】
１）使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
①薬剤、食品、アクセサリー、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本合金及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。

２）重要な基本的注意
①本合金の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
②本合金に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本合金を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
③本合金の鋳造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鋳造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。［粉塵や蒸気が人体に影響を与える可能性がある］
④本合金の加熱、溶融などの作業の際には、飛散などによる目の損傷ややけどを防ぐために、保護めがねなどを使用し、服装に注意すること。［目の損傷ややけどの可能性がある］
⑤本合金の切削の際には、目の損傷を防ぐために、保護めがねなどを使用すること。［目の損傷の可能性がある］
⑥本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。［粉塵が人体に影響を与える可能性がある］
⑦他の合金と混用しないこと。
⑧本合金は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。
⑨本合金は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
⑩本合金については、試験による MR 安全性評価を実施していない。（自己認証による）＊

３）不具合・有害事象
有害事象
掌蹠膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅発性金属アレルギー疾患）を発症することがあります。

【保管方法及び有効期間等】
［保管方法］
・本合金は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元　：株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元 ：株式会社ジーシー

発売元　　：株式会社ジーシー
住所　　：〒113－0033
東京都文京区本郷３丁目２番14号
電話番号　　：（お客様窓口）0120-416480

20013299
170547AW